

企業を育み地域を潤すエリアネットワーク通信
さがみはら商工会議所
会報 SAGAMIHARA CHAMBER of
 COMMERCE and INDUSTRY.

3

産業界の活力で新相模原を創出
 会員とともに行動、変革、そして未来へ



2015年 3月号 No.488



今月の主なNEWS
 当所から11名が受賞
第62回優良産業人表彰 p.5

- ① 地域商工業の発展に寄与 神奈川県優良産業人表彰受賞者 5
- ② 県内商工会議所連携ビジネス交流会を開催 5
- ③ 工業部会会員交流大会で新たな人脈づくりを構築 5
- ④ 「瀧川鯉昇」師匠を招き はやぶさ寄席2を開催 6

ミラサポ
 中小企業庁は、中小企業・
 小規模事業者の未来をサポートするサイト
 「ミラサポ」を開設しました。

① 国や自治体の補助金・支援制度を、お知りやすく提供します。
 ② 経営の悩みに対する先駆的助言等
 ③ 県内企業と他県企業との連携を促します。

検索

日相印刷 「学習パズルピース」の記事が掲載されました。

会員紹介 わが社のいち押し



開発に携わった荒井さん(左)と村上さん(右)

「書き込める学習パズル」
 「ピース」は相模原の22地区と3区
 のシンボルマーク、マスコットキャラクタ
 ー4体の計29ピースで構成されています。
 各ピースには各区のイメージカラーと地区
 名が記されているだけで、あえて無地にし
 ています。

総合印刷会社として地元・相模原に何か貢献できないか。株式会社日相印刷(南区麻溝台)が新商品のプロジェクトをスタートしたのは昨年8月のことです。相模原市の市制60周年を記念した冠商品とすべく、社内では徹底した議論が進められました。そして開発したのが、ジグソーパズル「ピース」でした。これはただのパズルではありません。世代を問わず、楽しみながら相模原をよりよく知ってもらおう、ツールともいえます。紙に触れることで、感覚器官や脳を刺激する「紙触効果」も期待しています。地域とともに発展したいという願いが込められた同商品。賛同者も増えてきており、現在は市内13カ所まで販売するまでになりました。

わが社の「いち押し」
 (株)日相印刷

「自由に書き込めます。紙ベースの地域情報プラットフォームのような商品です」と、プランニングマネージャー・荒井慶太さんは説明します。パズルゲームとしてスピードを競うのがオソドックスな遊び方ですが、それ以外にも何通りかあります。期間限定(3月まで)で購入時にガイドブックとともに無料配布される「ピースカード」と組み合わせることで、「かるた」として楽しめます。カードの裏面に書かれた問題を読み上げ、答えとなる地区のピースを選ぶことで、地域の特色を遊びながら学べます。

「相模原」を楽しんで学ぶ
 30年ぶりの新商品を開発

たのが「相模原WIN-WIN計画」です。荒井さんは説明します。「(社内では)みんなが幸せになれる街・相模原」を実現するため、相模原を全国区、世界区にするという普遍的なテーマを掲げています。その手段として相模原をブランディングするところが、自社のブランディングにもつながります。



楽しみながら地域を学べる

「ピース」を使って遊べば遊ぶほど、地域を知ることが出来ます。また、同社が開設しているサイト「さがみはらピース情報局」でも、さまざまな楽しみ方を紹介しています。

■地域とともに成長へ
 今年で創業51年目になる日相印刷ですが、その社名は、日本の相模に由来します。「創業以来、印刷という紙メディアを通して地元・相模原に貢献したい」という思いがあります」と、荒井さんは力を込めます。地域とともに歩んできた同社が今後100年企業を目指すにあたって策定したのが「相模原WIN-WIN計画」です。

印刷会社として「紙が持っている可能性」にこだわったもので、パズルとして遊べるだけでなく、紙の質感を楽しむ「紙触効果」や「脳トレ」の効果も期待しています。発売後、市を通して市内の子どもセンター・児童館など100カ所へ寄贈されました。今回、同社が地域貢献として開発した「ピース」に対する考え方に多くの企業が共感を示しています。今では市内の文具店や書店、北里大学売店など、計13カ所まで取り扱っています。

「お子さんだけでなく、ご家族でも楽しめます。ほかに、相模原を知るためのおみやげや留学生などの学習素材、さらには認知症などの予防にも役立ててほしいと思っています」(荒井さん)と、普及に向けて奔走しています。

相模原市南区麻溝台8-2-17
 ☎042-1748-6020

「紙」の持つ効果を期待
 もともと開発のきっかけは、昨年8月になります。市制60周年を迎える相模原市の担当者から記念商品の企画の話聞き、「社内でもやってみよう」となりました。同社にとって、自社製品を出すのは、実に30年ぶりのことです。そして昨年10月に完成、発売しました。価格は800円(税込み)。

「ピース」を遊べば遊ぶほど、地域を知ることが出来ます。また、同社が開設しているサイト「さがみはらピース情報局」でも、さまざまな楽しみ方を紹介しています。